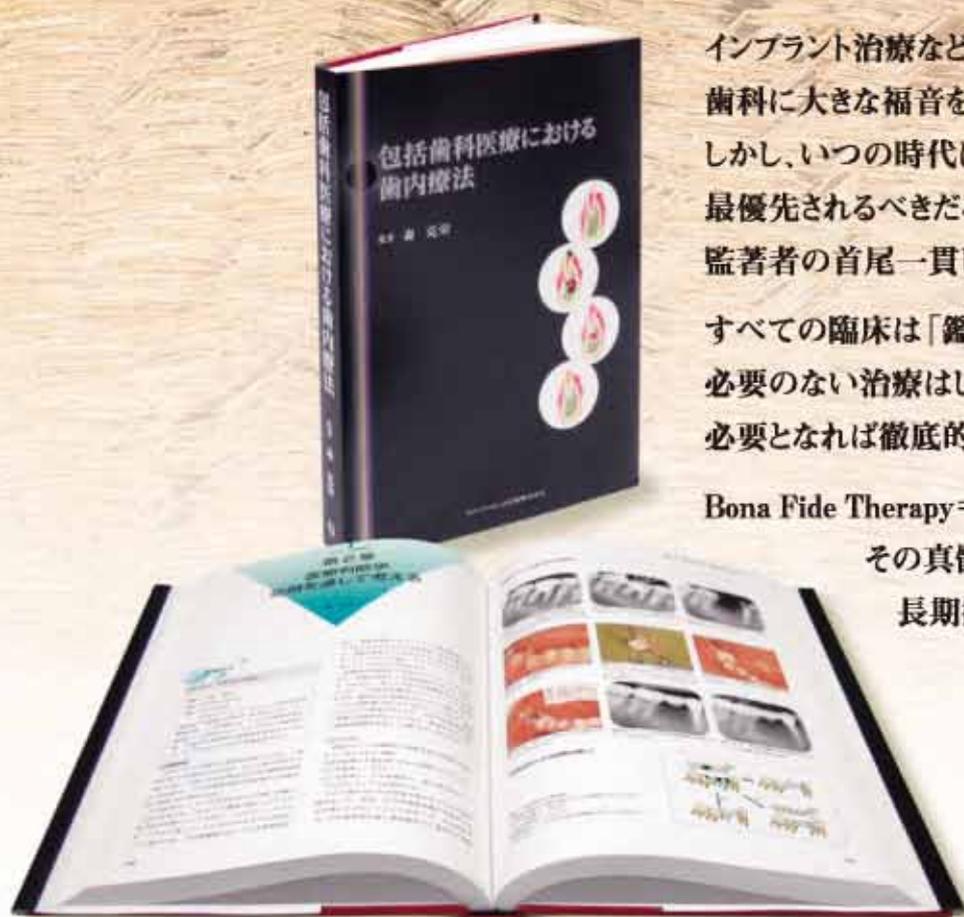


歯科臨床の大家・森 克栄の  
包括歯科医療37年の集大成  
ここに刊行

# 包括歯科医療における 歯内療法

監著 森 克栄



インプラント治療などの先端治療は、  
歯科に大きな福音をもたらした。  
しかし、いつの時代にも「天然歯の保存」は  
最優先されるべきだろう。

監著者の首尾一貫した臨床がここにある。

すべての臨床は「鑑別診断」から始まる。

必要のない治療はしないが、  
必要となれば徹底的にそれを行う。

Bona Fide Therapy＝適切な医療＝包括医療  
その真髄を今、

長期観察症例が雄弁に語りかける

●サイズ:A4判 ●384ページ ●定価本体:30,000円(税別)



クインテッセンス出版株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目2番6号 クイントハウスビル

TEL. 03-5842-2272 (営業) FAX. 03-5800-7592 <http://www.quint-j.co.jp/> e-mail [mb@quint-j.co.jp](mailto:mb@quint-j.co.jp)

## 第1部 歯髄を守る

- 第1章 歯髄の診断と処置
- 第2章 7 (位置異常)の戦略的抜歯と8 利用の診断基準
- 第3章 深在性う蝕を有する生活歯髄保存法
- 第4章 嚢胞内に根尖が入っていないと診断できたため歯髄を守れた1例
- 第5章 下顎4歯にわたる根尖部透過像から減圧療法で3歯の生活歯髄を保存
- 第6章 幼若脱臼歯の治療
- 第7章 両側下顎第二小白歯先天欠如に対する矯正治療
- 第8章 緻密性骨炎 (Condensing Osteitis) について

## 第2部 抜髄と感染根管治療 (Non-surgical Endodontics)

- 第1章 根管治療の要諦
- 第2章 彎曲・副根管を見る目 シルバーポイントの時代から
- 第3章 上顎小白歯の根管再治療に関する検討
- 第4章 矯正治療で生じた歯根吸収への対応
- 第5章 歯根内部吸収の実像を把握し根尖部外科処置で対応した症例
- 第6章 34年経過症例として発表したのが37年目に根破折を発見した症例
- 第7章 外歯瘻の診断とその治療
- 第8章 レジンコア修復
- 第9章 修復材料の選択とその臨床的応用
- 第10章 根管再治療の術後経過 感染根管治療と生活歯髄の抜髄

## 第3部 外科的歯内療法

- 第1章 外科的歯内療法と非外科的歯内療法 31年経過症例
- 第2章 根管治療における外科的歯内療法の役割
- 第3章 最後臼歯の保存と長期予後の安定

## 第4部 エンド・ペリオの相関関係

- 第1章 エンド・ペリオの合併症
  - Part1 鑑別診断を中心にして
- 第2章 エンド・ペリオの合併症
  - Part2 症例を通じた包括治療への指針
- 第3章 長期症例から歯根破折の臨床像を考える
- 第4章 歯周補綴における初期治療の重要性
- 第5章 歯牙移動後に歯肉歯槽粘膜形成術を行った2症例 31年経過症例
- 第6章 Distal Wedge法の臨床応用
- 第7章 歯周補綴 治療の幅と限界

## 第5部 エンドドンティック・アジャンクツ／矯正的挺出

- 第1章 切除的歯冠延長術か矯正的挺出か
- 第2章 矯正的挺出についての再検討
- 第3章 重度の動揺歯をブリッジ支台として保存した27年経過症例
- 第4章 有髄歯の意図的挺出
- 第5章 上顎智歯 (埋伏) を積極的挺出後ブリッジの支台とした症例

## 第6部 エンドドンティック・アジャンクツ／再植・移植

- 第1章 外傷性脱臼歯の再植と根管治療
- 第2章 意図的再植
- 第3章 自家歯牙移植の治療に確実な予後を求めて
- 第4章 根未完成埋伏智歯の移植
- 第5章 自家歯牙移植支台歯ブリッジの臨床的価値
- 第6章 片側の歯周病罹患歯8の6部位への移植
- 第7章 包括的な倫理体系、倫理の実践

## 第7部 医療判断学

- 第1章 医療判断学 Bona Fide Therapyを目指して
- 第2章 医療判断学 症例を通して考える

### [監著者]



森 克栄  
(もり かつせい)

1958年 東京医科歯科大学歯学部卒業  
1958～60年 渡米研鑽 (1年目はNew York, NYのグゲンハイム・デンタルクリニックで小児歯科臨床を、2年目はPhiladelphia, PAのアルパート・アインシュタイン・メディカルセンターにてDental InternとしてWalter Cohen教授にPeriodonticsを、IB Bender教授にEndodonticsを開眼させられる)  
1961～69年 母校口腔病理学教室在籍「歯周病の初期病理発生に関する研究」に従事  
1962年 原田良種先生に師事  
1965年 米国歯内療法学会 (AAE)・会員 '90～終身会員  
1969～2005年 現在地 (東京都世田谷区) に開業

主な著書: Dental Mook 現代の臨床3, 「根管治療とその周辺」(編著) (医歯薬出版), Intentional Extrusion—意図的挺出の現在— (編著) (グノーシス出版), Dental Mook 現代の臨床8, 「歯周治療」(共編著) (医歯薬出版), 他

きりとり線

注文書

包括歯科医療における歯内療法

冊注文します。

●お名前

●TEL

●FAX

●ご住所 (〒 )

●ご指定納入店

支店